

港北区の「活動」をつなぐ情報誌

# 楽らく遊ゆう学がく

第280号

平成30年9月発行

【編集・発行】港北区区民活動支援センター

## 特集

港北区で楽しむ文化・芸術  
大倉山でドキュメンタリー映画を楽しもう！



大倉山ドキュメンタリー映画祭実行委員会のメンバーとボランティアの皆さん

港区内で数多く行われている文化・芸術活動。  
今回は「大倉山ドキュメンタリー映画祭」を紹介します！



大倉山記念館では、年に1回「大倉山ドキュメンタリー映画祭」が開催されています。「多くの人に優れたドキュメンタリー作品に親しんでもらいたい」との思いから、2008年に横浜で活動するドキュメンタリー映画関係者を中心に実行委員会が発足。10年を経た今では、障害者福祉施設職員や塾講師、地域住民など十数人がボランティアで運営に関わり、更に地域の商店会や社会福祉法人が協賛、大倉山記念館が共催する等、まさに地域ぐるみの映画祭となっています。

11回目となる、2018年3月24日(土)・25日(日)の映画祭では、ニューヨークの路上在住で猫を描く80歳のホームレスアーティストのドキュメンタリー『ミリキタニの猫《特別篇》』、2012年から原発事故で被曝した“生きものたち”の健康影響を取り続けてきた『福島 生きものの記録 5』など、全11作品が上映され、2日間で424名が来場しました。

運営ボランティアには約20名が参加。会場設営や受付補助、来場者の整理誘導などを手伝い、実行委員会メンバーとともに映画祭を盛り上げました。また、地域の子育て支援グループも参加し、上映中の保育に協力しました。



『ミリキタニの猫《特別篇》』

作品上映後はカメラマン3人が語るカメラマン・トークや、上映作品の監督他が登壇するドキュメンタリー・トークも開催。大倉山記念館のアンティークな部屋で、美味しいお菓子やお茶とともに、監督と歓談したり、映画のDVDや関連書籍の購入ができるドキュメンタリー・カフェも併設し、主催者・来場者が触れ合える温かみのある場所となっています。



ドキュメンタリー・トーク



ドキュメンタリー・カフェ

## 「大倉山ドキュメンタリー映画祭」実行委員会の活動

実行委員会のメンバーは、現在は10名ほど。大倉山記念館の1室を借りて月1回程度集まり、映画祭に向けての打合せをしています。各々お薦め映画のDVDなどを持参し、メンバーで観て、話し合いの上、上映作品を決定します。選考の基準としては、人間をきちんと描いている映画であること。



打合せの様子



お薦めのDVDを紹介

上から目線ではなく、自分たちがぜひ観てもらいたいものを選び、自分たちでチケットを売る、ということ大切にしています。今後、新人のドキュメンタリー監督の作品とも数多く出会い、共に学び合っていきたいとのこと。

ホームページやチラシ作りなどは、メンバーで分担して行っています。「活動することで地域の情報を知り、人と人がつながっていきます。実行委員会のメンバー自身も楽しみながら、より地域に根差した映画祭にしていきたい。」と、発足者の一人である三浦淳子監督が話してくれました。



メンバーで鑑賞  
(「ミナマター井戸を掘ったひと 回想 川本輝夫」)

## 大倉山ドキュメンタリー映画祭実行委員会

来年の開催は2019年3月23日(土)・24日(日)です。  
時間・内容・料金・ボランティアの募集などは、決定次第公式ブログにてお知らせします！

公式ブログ <http://o-kurayama.jugem.jp>



問合せ: TEL 080-3542-8759(実行委員会)  
090-2257-4895(薩田[さった]) FAX 434-9270  
Eメール [ookurayamaeiga@yahoo.co.jp](mailto:ookurayamaeiga@yahoo.co.jp)



港北区では、区内の歴史や文化、場所等を区民の方に伝える活動をしている団体が数多く活動しています。

「わがまち港北スポット」では、区内の様々な団体に、一推しの「わがまち港北」を紹介していただきます。

今月号は、「篠原城址緑地」と「小机城址市民の森」をご紹介します。



## 「わがまち港北」スポット

## 篠原城址緑地 区内にある中世の「城址」その①

JR新横浜駅から徒歩10分のところに土塁や空堀など中世の山城が残っており、現在は「篠原城址緑地」として普段は立ち入り禁止地域となっています。

周囲は住宅地ですが、山頂部には雑木林が残り、野鳥などのすみかとなっています。

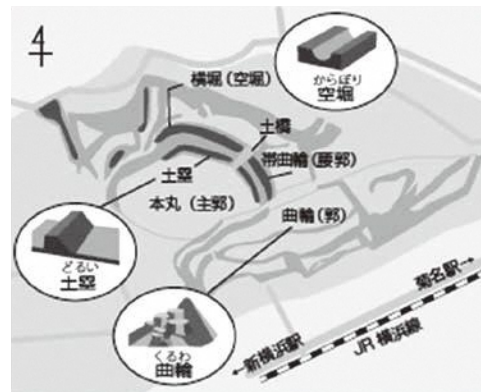
今回は「篠原城と緑を守る会」に篠原城址緑地の魅力を寄稿していただきました。

篠原城は、鎌倉時代初めの金子十郎家忠、または戦国時代の金子出雲守が築いたとされ、地元では金子城と呼ばれています。烏山川・鶴見川にも近く、近傍を鎌倉道が走り安山(やすやま)の尾根伝いに菊名・太尾方面へ抜けられる要衝でした。豊臣秀吉の小田原攻め後、廃城となりますが、土塁や空堀、土橋などの一部が残っており、長福寺の薬師如来胎内札等と共に貴重な歴史遺物になっています。また、篠原城址の北麓には昭和20年代まで杉山神社がありました。鶴見川流域を中心に約七十ある杉山神社は、郷土史の「謎解き」課題になっています。

篠原城の本丸跡など城の中心部へは、通常は立入できません。そこで篠原城と緑を守る会は、横浜市の許可を得て年数回この篠原城を公開し、城内ガイドをしています。

また12月22日(土)～24日(祝・月)はパシフィコ横浜での「お城EXPO」に展示参加を予定しています。さらに来年3月2日(土)午後には港北公会堂ホールで「杉山神社フォーラムⅢ」を開催、基調講演に日本史学者 盛本昌広(もりもとまさひろ)氏を招聘し、杉山神社ともゆかりの深い港北の伝統芸能「岸根囃子」の披露を予定しています。

記：篠原城と緑を守る会



(篠原城址緑地 地図)



(城内見学会)



(お城EXPO(平成29年))

### 篠原城と緑を守る会とは？

篠原城址の保全活動や、城址周辺でイベントを開催しています。現在20名で活動し、普段は立ち入ることができない城内を案内したり、篠原城関連のセミナーなどを年に数回行っています。

問合せ：篠原城と緑を守る会

〒222-0026 港北区篠原町2754 長福寺気付

FAX 434-1845 Eメール mamoru@shinoharajo.yokohama

HP <http://shinoharajo.yokohama/>



「篠原城と緑を守る会」作成のリーフレットです。



篠原城を舞台にした「語りの楽劇 まぼろしの篠原城」が上演されました。



(「まぼろしの篠原城」チラシ)

「篠原城」にまつわるお話です！



平成29年10月に、篠原城を舞台とした港北芸術祭オリジナルの歴史ロマン劇「まぼろしの篠原城」が港北公会堂で上演されました。(平成24年初演)

この劇は、篠原城の城代 金子出雲と長女の於与(およう)の回想劇で、女優の五大路子さんが1人で10人以上の登場人物を語りで演じ分けるとともに、そのBGMから効果音まで、様々な音を、世界的演奏者であるチェロ奏者・堀了介さん、尺八演奏家・三橋貴風さんが奏でるとい、大変独創性に富んだ内容になっています(作・演出:畑圭之介)。3名の出演者はいずれも港北区在住で、地域や平和を愛する気持ちの大切さを作品を通じて伝えています。

小机城址市民の森は、JR横浜線小机駅より北西に徒歩10分ほどの場所にある小高い丘で、中世の城郭小机城址がそのまま市民の森に指定されています。

本丸や二の丸址(あと)、空堀(からぼり)、土塁(どるい)がほぼ原型のまま残され、孟宗竹の竹林が幽玄な雰囲気醸成を醸しだしています。

平成29年4月6日(城の日)には小机城が日本城郭協会による「続日本100名城」に選定されました。



〔小机城址ガイドマップ〕

問合せ  
港北観光協会  
TEL 540-2234



〔小机城址・鴨居原市民の森ガイドマップ〕

問合せ  
環境創造局  
北部公園緑地事務所  
TEL 353-1166



(小机城址市民の森 地図)

～小机城址市民の森を拠点に活動する団体を紹介します～

小机城址市民の森愛護会・・・美化活動

小机城址市民の森愛護会は、市民の森を憩いの場として保全するため、地元の矢之根・宿根、両町内会の有志が美化に努めています。宿根地区は、毎月ゴミ箱のゴミ回収・敷地内のゴミ拾い・トイレの清掃と年3回地区有志による草刈を行っています。また、矢之根地区青年部により、年に5回草刈、枝打ちも実施されています。小机城が続日本100名城に選定され、多くの方が市民の森を訪れるようになりゴミの量も増えているそうです。

問合せ：環境創造局 北部公園緑地事務所 TEL 353-1166



(小机城址市民の森の風景)

NPO法人日本の竹ファンクラブ・・・竹林の保全

当クラブは平成11年に放置竹林の整備を目的にボランティア活動をはじめ、平成24年にはNPO法人化し、現在は横浜市内・伊豆を中心に全7か所で竹林保全の活動を行っています。主な活動は竹林を手入れする「竹取協力隊」・竹素材のものづくり教室や竹林の自然環境について学ぶ「出前講座」・竹林の管理を学ぶ「竹の学校」・竹の間伐材を使った「竹灯籠まつり」です。

小机城址市民の森では、毎年10月下旬に当クラブ主催の竹灯籠まつりが行われています。【遊学スポットP6参照】城址敷地内斜面に5,000本の竹灯籠が点灯される幻想的なイベントです。

問合せ：NPO法人日本の竹ファンクラブ 平石 TEL 306-9993



(竹灯籠まつりの様子)

小机城のあるまちを愛する会(城まち会)

城まち会は、小机城址まつり実行委員会から派生し、平成30年1月に発足しました。歴史や文化を知ることが地域の魅力の再発見につながると、小机城の歴史を知る活動やイベントの支援・商店街の活性化など、まちおこしを活動の中心に行う予定です。6月24日(日)に第1回のイベント「紙芝居&小机城の歴史」が小机のコミュニティカフェ「ホットカフェ」にて催されました。今後は、まち散策と小机城址を案内するツアーや歴史家による講演なども検討していきます。地元の人に限らず広く人材を集めていこうと会員を募集しています。

問合せ：小机城のあるまちを愛する会 木村 TEL 090-2738-0278



(「たまたばこ」による紙芝居上演の様子)

小机城址まつり



(小机城址まつり 出陣式の様子)

毎年4月上旬に小机城址まつりが行われています。三会寺(さんねじ)から小机城址市民の森本丸跡地まで続くパレードには「武者行列」「少年少女武者隊」のほかに、地元の小学生によるマーチングバンドや子供神輿など約500名が参加します。本丸跡地では武者出陣式が行われます。

このまつりを主催する実行委員会は、地元各町内会を中心に約70名程度で構成されています。地元の人々にとって小机城址は子どもの頃の遊び場でした。地域を活性化したいという人々の思いと子ども時代に親しんだ場所が結びつき小机城址まつりの実施に至ったそうです。これまで26回開催され、今では港北を代表するお祭りのひとつとなっています。





遊学スポット  
(港北区内のグループによるイベント情報)

『港北区グループ・団体ガイド』  
登録グループからの会員募集

小机城址市民の森「竹灯籠まつり」

日時:10月27日(土) 17:00~20:00 (入場は19:30まで)  
※雨天の場合28日(日) 会場:小机城址市民の森  
入場無料(保全活動協力費一人あたり500円)

★点火ボランティア「あかりびと」50名募集(先着順)

日時:10月27日(土) ※雨天の場合28日(日) 15:30までに小机城址市民の森丸広場に集合 申込・問合せ:〒住所・氏名・年齢・電話番号・FAX・メールアドレスを記入し、FAXかEメールかハガキで下記へ。〒224-0001 都筑区中川1-5-19 プロミネンス14-304 NPO法人日本の竹ファンクラブ TEL&FAX 306-9993 Eメール office141@takefan.jp HP http://takefan.jp

港北図書館友の会 講演会『ご先祖調べは面白い・第2弾』  
ご先祖様の調べ方と、歴史に埋もれた名字のお話

日時:11月11日(日) 14:00~16:00 講師:戸部 廣康氏  
会場:港北図書館2階 会議室A 定員:30名(事前申込・先着順)  
参加費:無料 申込:10月16日(火)9:30~窓口か電話で  
問合せ:港北図書館 TEL 421-1211

港北区移動サービスを考える会  
2018年度 外出支援ボランティア講座

「介助の基本・送迎ボランティアの基本を知ろう!」  
日時:11月17日(土) 13:30~16:00 参加費:無料 定員:20名  
会場:大豆戸地域ケアプラザ2階 多目的ホール  
申込:氏名・電話番号・居住地域(例 菊名〇丁目)を電話で。  
問合せ:らら・むーぶ港北 清水 TEL 562-2705

男の料理教室

家庭料理を先生の指導で楽しく作っています。  
日時:毎月第2日曜日 10:00~13:00  
会場:菊名地区センター 会費:2,000円/月(材料費込)  
問合せ:栗林 TEL 546-1077

●遊学スポットに掲載希望のかたは、区民活動支援センターにご相談ください。(掲載依頼締切日が変更になりました!)  
詳しくは、下記をご参照ください。)

●港北区関連のイベント・講座情報は「広報よこはま」、「横浜カレンダー・港北区イベント情報お届け便」も併せてご覧ください。  
スマホやパソコンからも検索できます!

- ① 港北区イベント情報 で検索
- ② 港北区のホームページ  
→『情報・手続きのご案内』(上から3段目)  
→「地図・お役立ち情報」クリック(1番右のタブ)  
→「イベント」(上から2つ目)イベント情報お届け便クリック!



区民活動支援センター  
からのお知らせ

このページでは、区民活動支援センターからのお知らせ等を毎月掲載します。

市民グループ・団体運営の「スキルアップカフェ」(第2回)

団体の効果的な運営、団体PR、協力者の集め方、お金の管理方法など市民団体グループ間で悩みを共有し、スキルを高めることをめざし開催します。

今回のテーマ:「活動のためのお金のはなし」 日時:10月25日(木) 14:00~16:00

場所:港北区区民活動支援センター会議室(区役所4階)

・事前申込制 先着6団体 (9月10日より定員になり次第締め切り)

【問合せ】港北区地域振興課 地域力推進担当 540-2247 Eメール ko-chikara@city.yokohama.jp

「遊学スポット」掲載希望のかたへ

「楽遊学」は、隔月発行になりました。それに伴い、「遊学スポット」掲載依頼の締切を発行月の前々月28日とさせていただきます。(「登録グループからの会員募集」についても、同様の締切となります。)

次号は11月号です。(原稿締切は9月28日(金)となります。)

詳しくは、区民活動支援センターまでお問合せください。



ご意見ご感想をお寄せください。

いつも「楽遊学」をご覧いただきありがとうございます。  
内容についてのご意見・ご感想、お気づきの点など、支援センターまでお寄せください。  
よろしくお願いいたします。

港北区区民活動支援センター(港北区役所4階48番窓口)

〒222-0032 港北区大豆戸町26-1

TEL&FAX 540-2246

Eメール ko-center@city.yokohama.jp

港北区区民活動支援センター

検索

★開館時間★

月~金曜 8時45分~17時(土・日曜、祝日、年末年始除く)

